

ここでは変更点のみの記載で、注意点については各編を参照して下さい。

【1】 DISPLAYユニット

1. R1=R2=103は装着しない（不要）こと。

【2】 DDSユニット

1. R9=R12=47→39に変更。
2. R32=R33=121→47

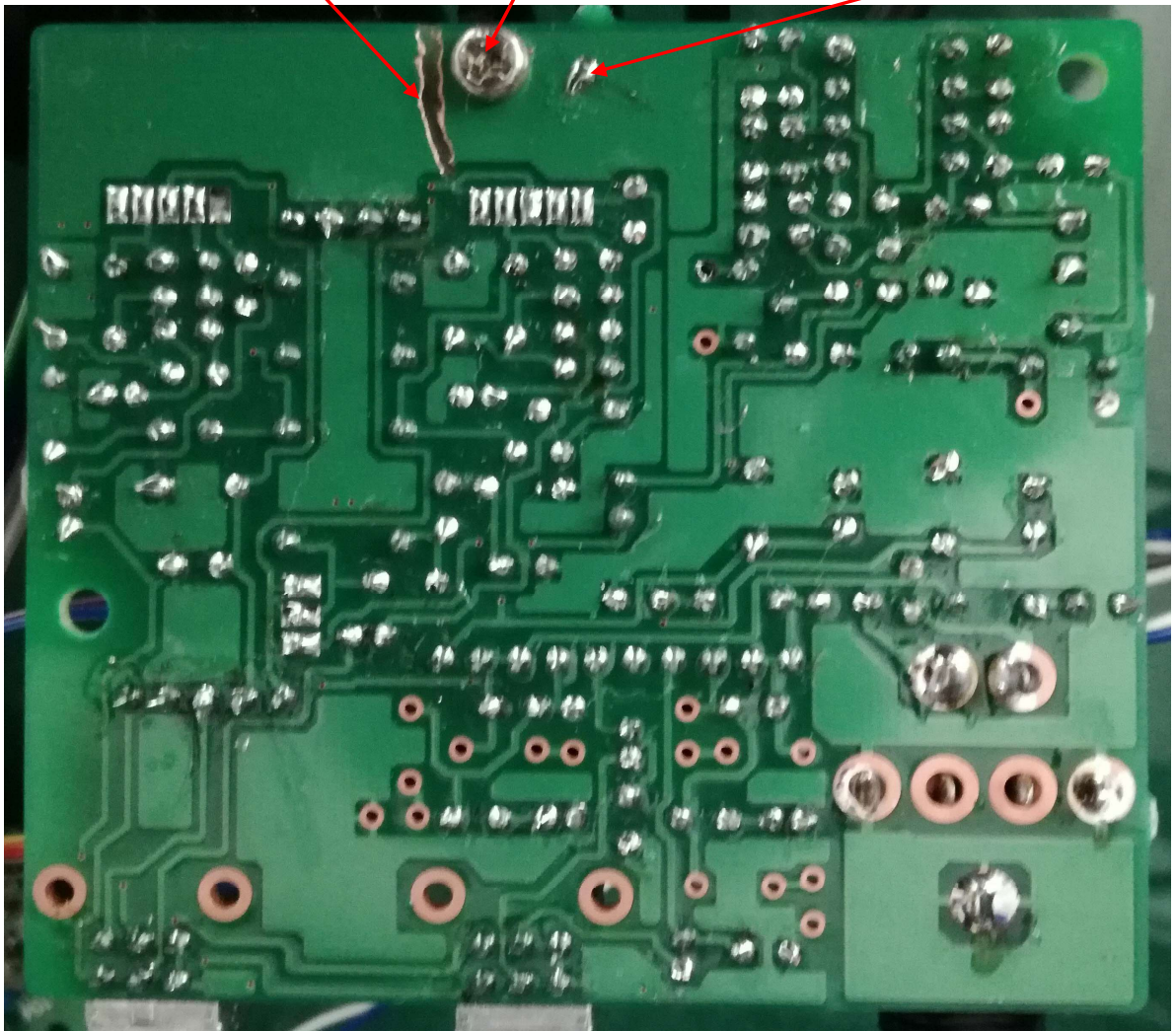
【3】 AF-AMPユニット

1. C22/C24/C27/C28/R31/R36/R33/R38は装着しない。
2. 回路図中、R28=682→822が正しい。
3. R24=392→222に変更。
3. 放熱器を付けた状態ではグラグラして不安定である、よって変更項目ではないが、次のように提案しておく。 放熱器は-15Vラインとなっている。

GNDパターンをカットし
右側のエリアを浮かせる。

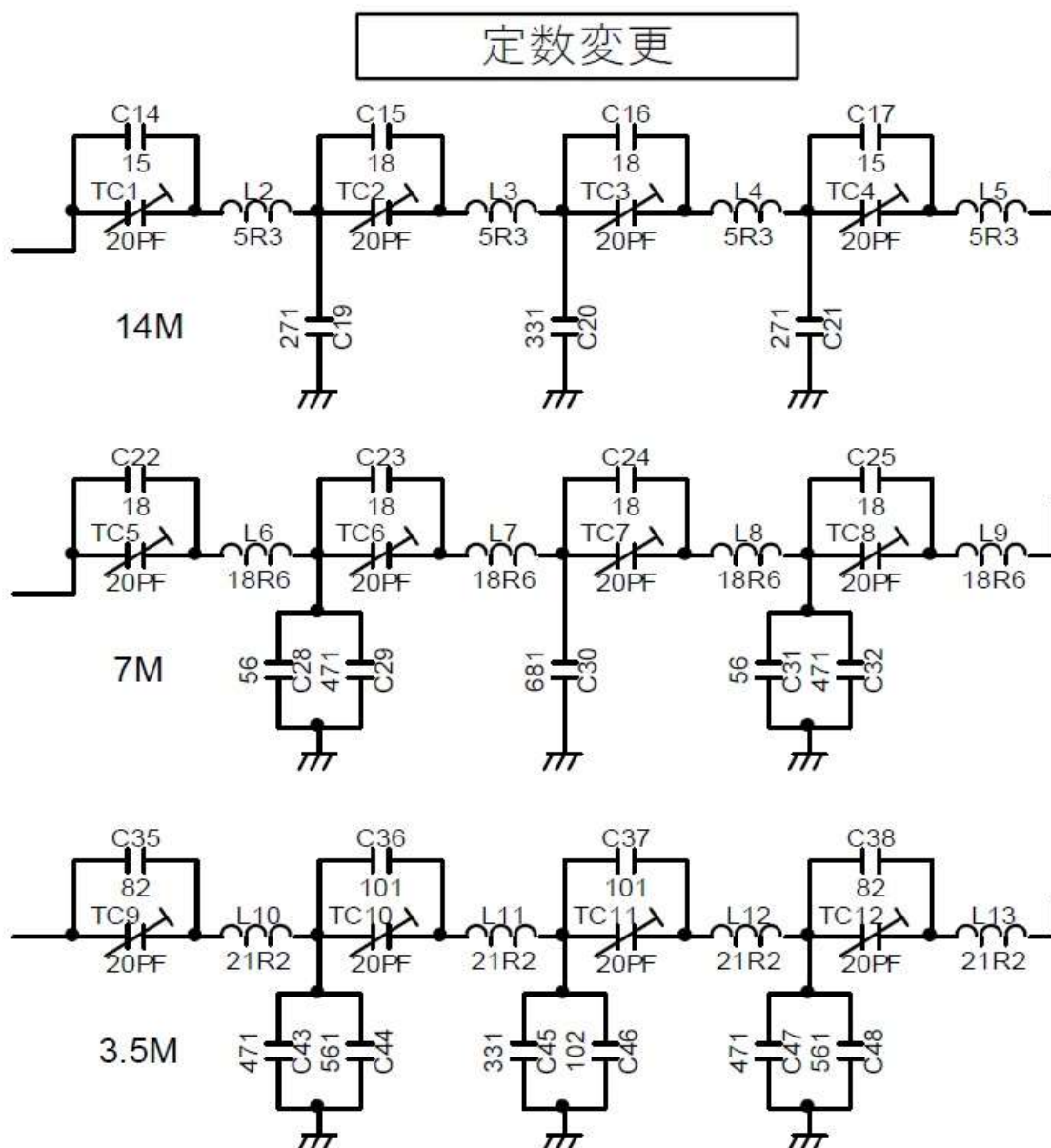
放熱器に3mmのタップを
きってビスで固定する。

このパターンエリアがGND
に落ちていないか確認する。



【4】 MAINユニット

1. BPFの定数変更 (3.5M/7M)



2. AGCブロック

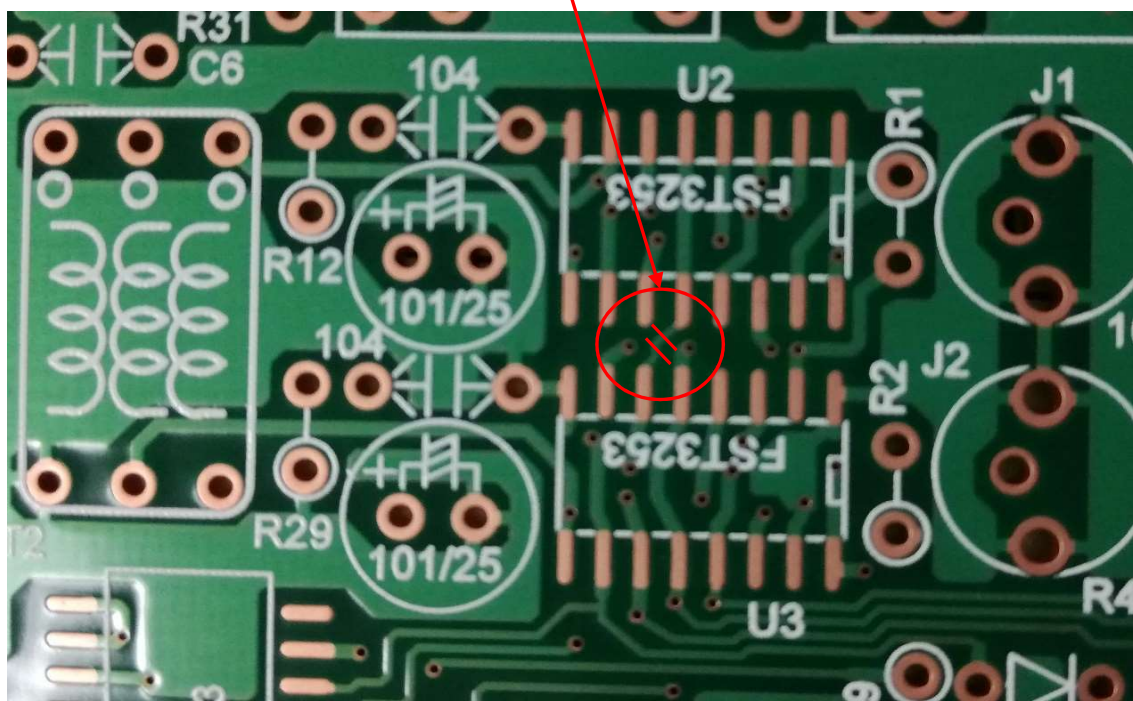
AGC回路のSLOW/FIRST切替回路の変更、回路図が間違えており基板は回路図通りになっている。3ヶ所共に同じ内容に変更すること。

RF-AGCのQ4/R17 と AF-AGCのQ18/R83、Q22/R105 の3ヶ所

R17=564→0Ω (ジャンパー) とし、Q4のコレクタ端子穴 (真ん中) に564の抵抗を立てる。Q4のコレクタ足は曲げて上垂直に立てておく、EとBを穴に入れてハンダ付け。コレクタの足と564の足をハンダ付けする、すると、左の現回路が右に変更される。

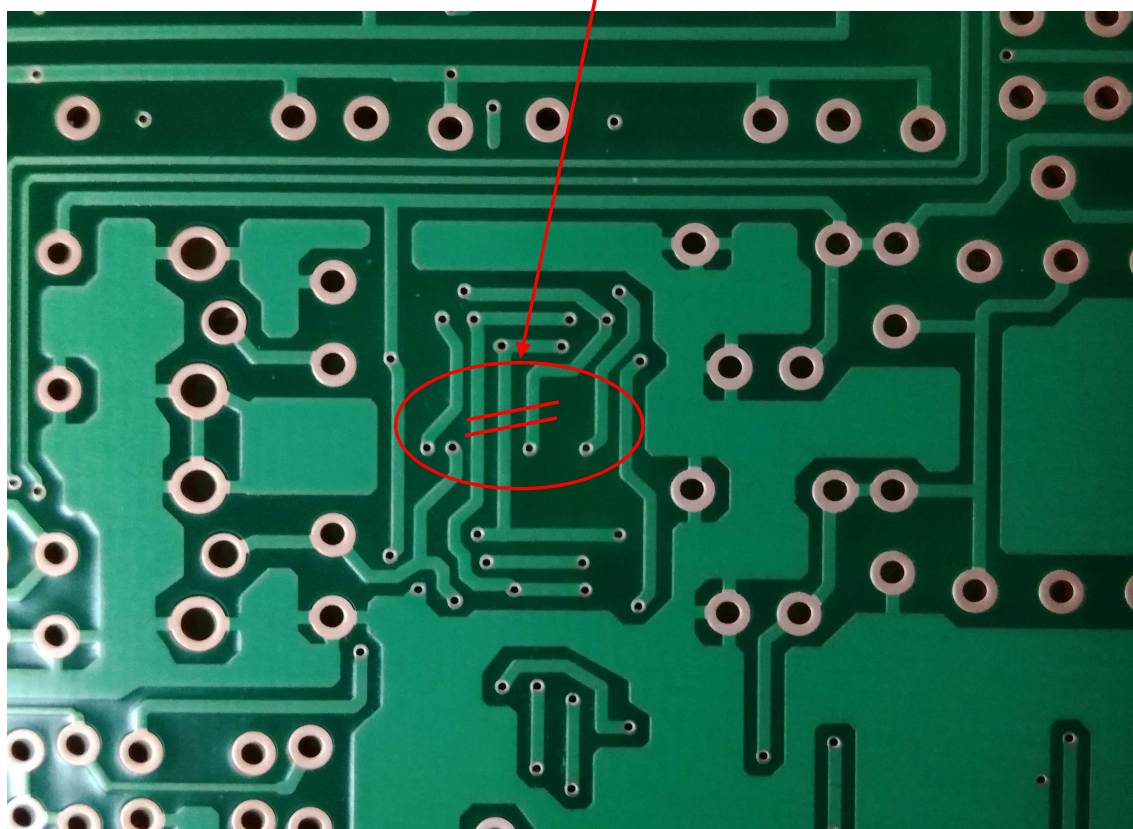
部品面のカット1ヶ所

U2の⑫番—U3の⑥番間をカットする。

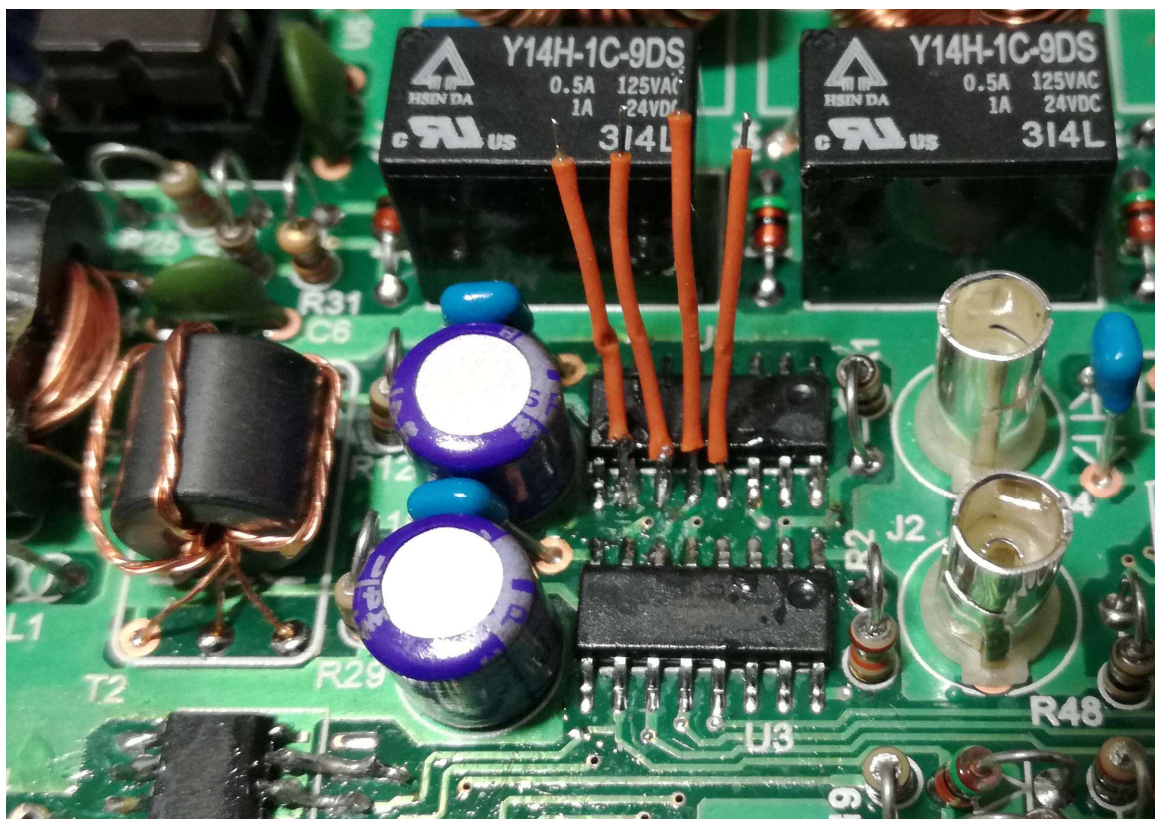


ハンダ面のカット

U2からU3へ接続されているパターンをカットする。(3本)
U2/U3の裏側



細いリード線で、U2の⑩／⑪／⑫／⑬の各ピンにハンダ付けしておく。



U2からU3へ接続する。

U2⑩

U3④

U2⑪

U3⑥

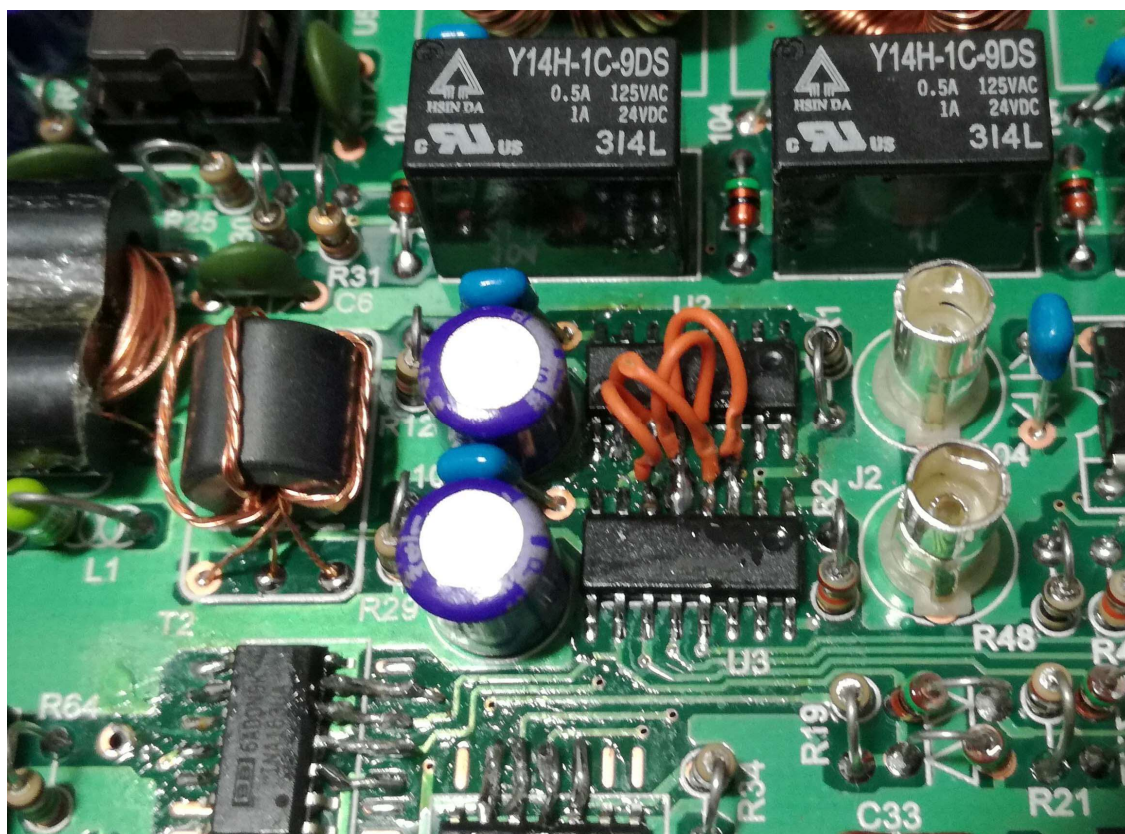
へ接続する。

U2⑫

U3③

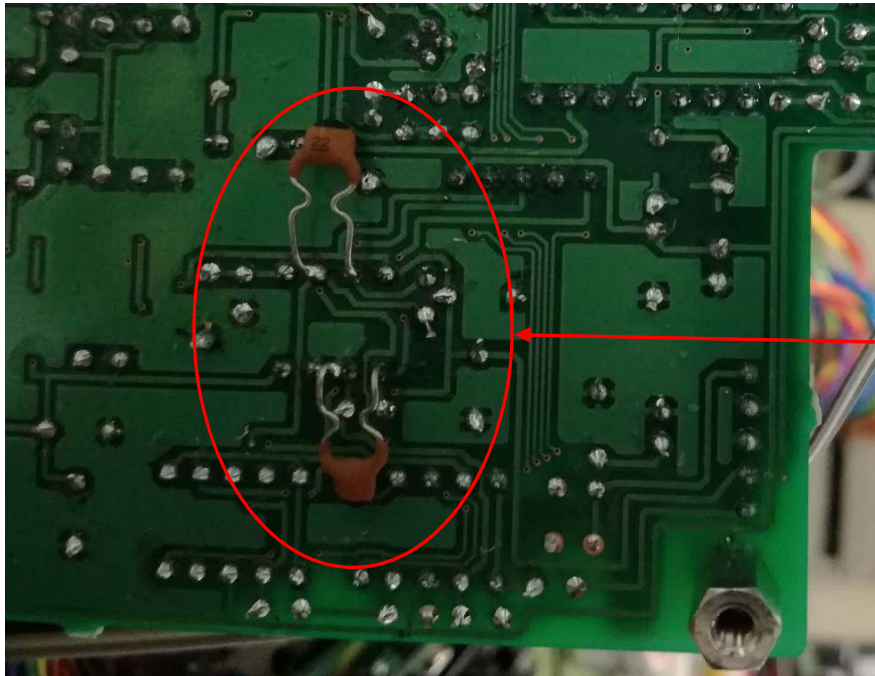
U2⑬

U3⑤



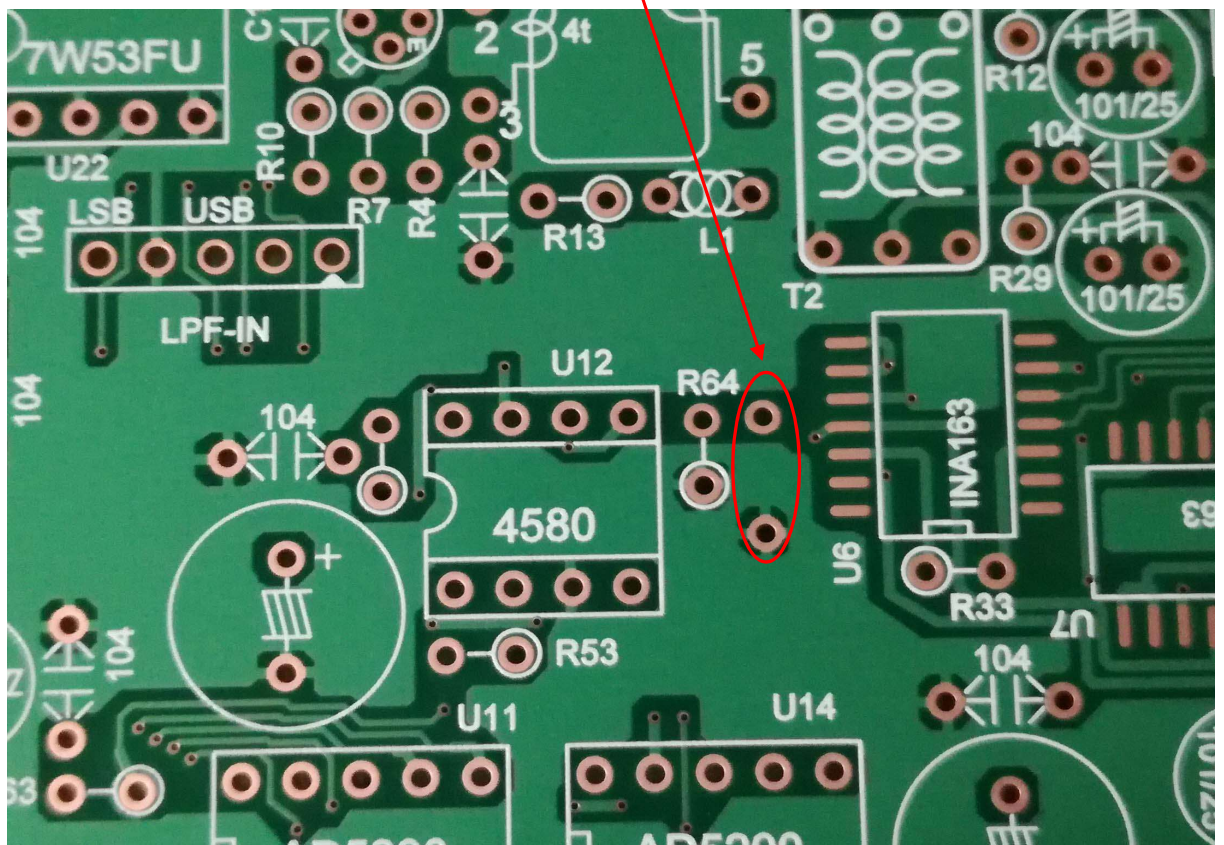
5. 加減算回路

- ① $R51=392$ 、 $R52=243$ 、 $R53=123$ 、 $R55=223$ 、 $R56=223$ 、 $R61=392$ 、 $R62=123$
 $R63=243$ 、 $R64=123$ が最新定数。
- ② CをRにパラ接続する。
 $R53/R62/R64$ 各抵抗に $C=22PF$ を並列接続する。



U12の裏
2ヶ所

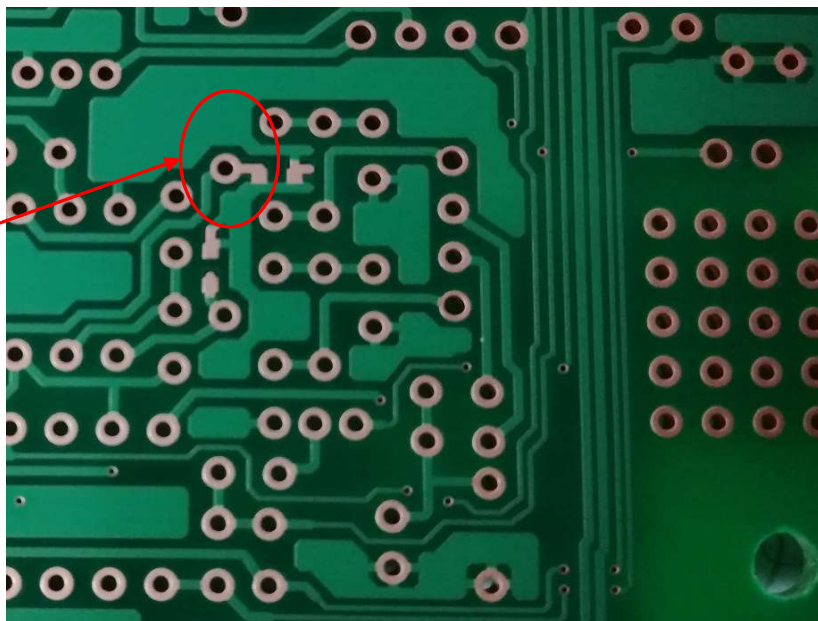
もう1ヶ所はR64とパラ、この穴に22 p Fを挿入す



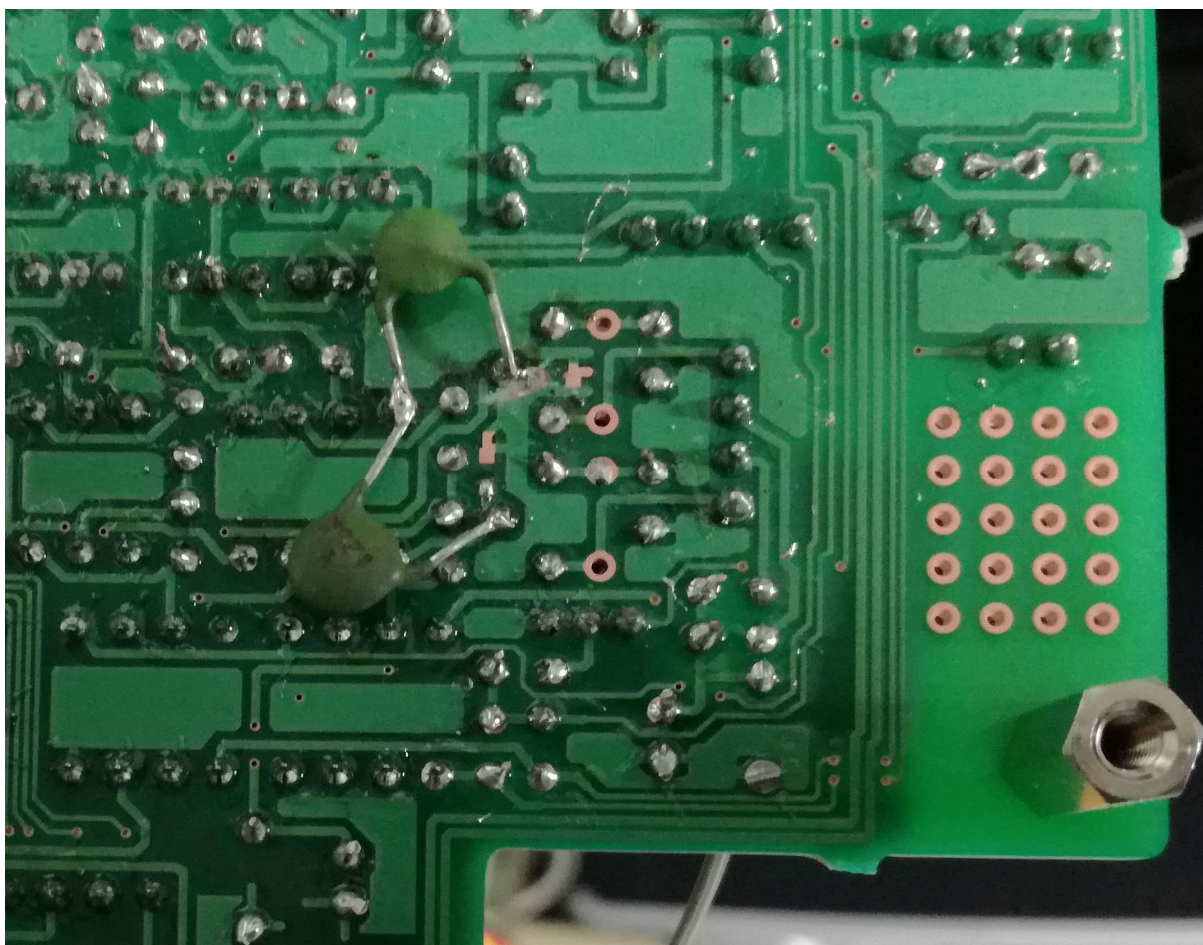
6. AF-AGCブロック

- ① AGC-VRを接続するCNP7の場所、VR2の摺動端子がGNDにおちている。これは最後にVR2とVR3の各摺動端子にコンデンサー（103）をGND接続するために、チップコンデンサーが付けられるように手修正した。この時にGNDパターンがショートした。

VR2の裏、摺動端子
がGNDパターンに
おちている。GND
から切り離す。



VR2とVR3の各摺動端子からGNDへコンデンサー（103）を裏付けする。

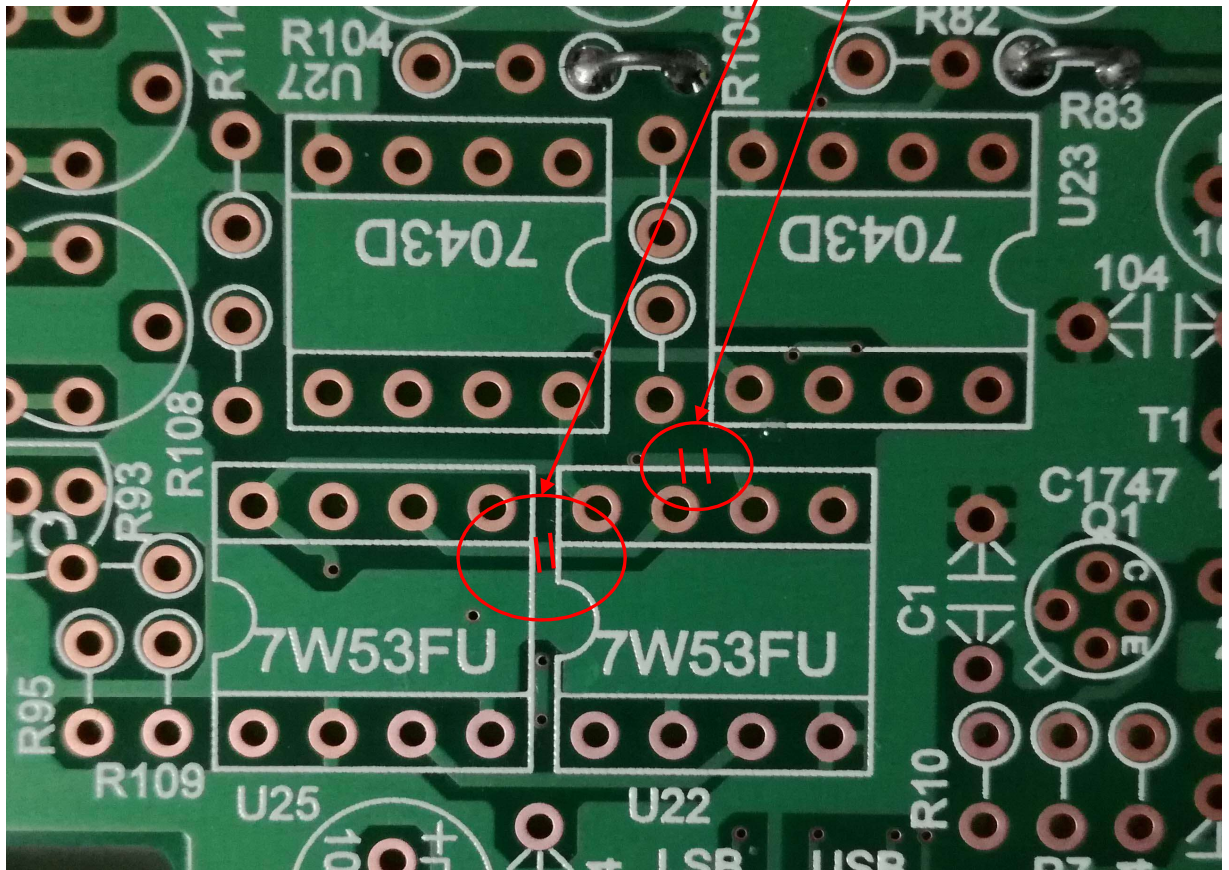


② U22/U25まわりの改修

2ヶ所カットしておく。U22とU25の⑥番ピンは独立させておく。

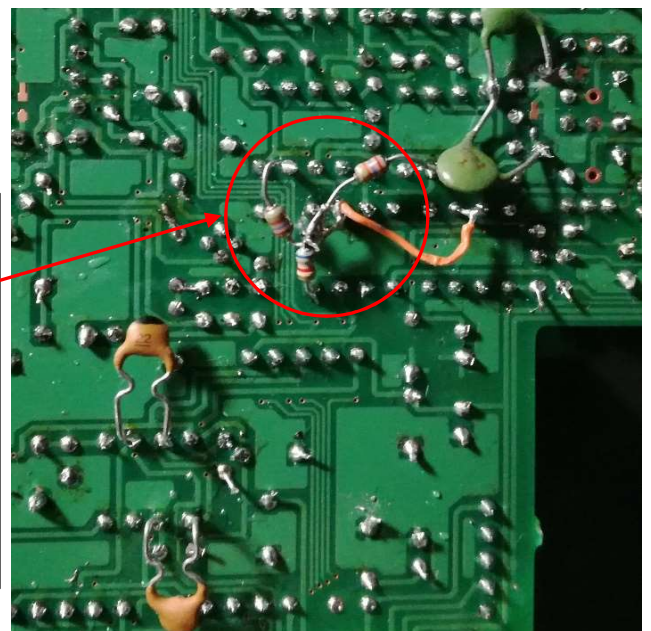
①U25⑥番とU22⑦番を接続しているパターンをカット。

②U22⑥番からスルーホールへ出ているパターンをカット。



- ・ U22⑥番とU25⑥番をリード線でつなぐ。
- ・ U23の⑦番から27K Ω 、U27の⑦番から27K Ω をU22/U25の⑥番へ接続する。
- ・ U22/U25の⑥番からGNDへ682を接続する。

U23⑦番とU27⑦番から27K Ω をU22/U25⑥番へ接続するのだが、U23/U27の⑦番を何度も間違えてしまい、うまく動作しない。(方向を勘違いする)



③ 定数変更

- ・ R89=R103=392に変更。
- ・ R99=R119=472に変更。
- ・ R93=562に変更。
- ・ AGC-VR（パネル取り付け用）=B202-2連 → B102-2連 に変更。

近くの店で買って来た

